

平成29年度

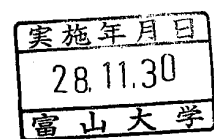
経済学部

社会人入試

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. この問題冊子は、全部で4ページ、解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚である。試験開始の合図があってから確認すること。
なお、試験問題に文字などの印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れなどがあった場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3. 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を算用数字で記入すること。氏名を書いてはいけない。
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。解答は、解答用紙の所定欄に記入しなさい。
解答用紙の所定欄以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としない。
5. 配布された問題冊子および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ること。



【問題 1】 次の文章を読んで、[設問 1] から [設問 4] に答えなさい。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

労働力人口(注 1)減少に対する危惧がある一方で逆に、新たに生まれる技術、とりわけ IT や人工知能 (Artificial Intelligence = AI) の発達により将来、労働に対する需要は減っていく、極端に言うと、生産現場で人は機械に取って代わられてしまうかもしれない、という警告もある。ブリニョルフソン/マカフィー『機械との競争』は、タイトルが示すとおり、こうした見解を代表するものである。

現在はまだ AI の言語理解能力は限られているが、「実力」は着実に向上してきている。国立情報学研究所で開発が進められている東大合格を目指す「東ロボくん」は、2015 年 11 月に行われた大学センター試験模試の数学と世界史で、偏差値が 60 を超えて話題となった。

①私たちが人間の仕事は、いつの日か「東ロボくん」など AI や IT によって置き換えられることになるのだろうか。この問題を考えるときには、いくつか注意しなければならないことがある。

第一に、AI、IT によって置き換えられるのは、それまで人間が行っていた特定の仕事なのか、それともすべての人間労働なのか、②両者をはっきりと区別することが重要だ。AI、IT が、一般に機械が人間の行っていたある種の仕事・作業を代わりに行うことになるというのであれば、これは歴史上繰り返し起きてきたことであるし、現在もわれわれが日常的に経験していることである。先に言及した駅の自動改札機は分かりやすい例だろう(注 2)。機械が導入されたことにより、そこでは人間の労働に対する需要、すなわち雇用は失われる。

しかし、機械化によってある職場で特定の仕事にかかわる雇用が失われるということと、人間の労働に対する需要が根こそぎ失われるということは、まったく別のことだ。多くの人々は、具体的なイメージを伴いやすいということもあり、昔から人のやってきた仕事が機械に置き換えられ、雇用が失われることに恐怖心を持ちやすい。しかし、歴史を振り返ると、③話はむしろ逆なのである。つまり、経済全体で労働に対する需要が旺盛で人手が足りなくなり、賃金が高くなる結果、ある種の仕事について「省力」のために機械が導入されてきたのである。そもそも 18 世紀イギリスで、ワットなどによって蒸気機関の発明・改良がなされたのも賃金の上昇に対するリアクションだった。AI、IT は人間の「頭脳」を代替する点で従来の機械とは違う。しかし、ブルドーザーがそれまでは人間の「筋力」に頼るしかなかった仕事を代替したのと、本質的にどこか異なるのだろうか。

もう一つ忘れてはならないことは、AI、IT によって作り出されるモノやサービスを消費するのは人間ということだ。消費する人間がそうしたモノやサービスを購入する。当たり前のことだがモノやサービスを買う人は、購買を可能にするだけの所得を得ていなければならない。すでに述べたとおり、歴史を振り返ると、伝統的に人間がやっていた仕事の多くは機械によって代替されてきた。しかしその結果、人間は「お払い箱」になったのではなく、むしろ労働生産性(注 3)が上がり、賃金は上昇してきた。つまり、人々は機械のおかげで豊かになってきたのである。

少し細かいことを言えば、機械化が進む中で人々が得る所得は、賃金など労働によって得る所得と、機械を所有することによって得る所得(「資本」から得る所得)の二つを合わせたものになる。つまり、AI、IT 社会では、人々の所得は労働所得と AI、IT の所有権から得る所得(間接的な利子所得等も含む)の合計になるということだ。過去 200 年の歴史の中では、機械化が進む中でも労働所得の比率(「労働分配率」と呼ばれる)がジリ貧に低下していくというようなことはなかった。むしろ先進国の労働分配率は、60~70%の水準でほぼ安定してきたのである。もっとも、今後、労働分配率は低下し続け、逆に

資本の取り分がどんどん増大し、「大格差社会」がやってくる、という世界的なベストセラー『21 世紀の資本』におけるトマ・ピケティのような主張もあることにはある。しかし今のところ、ピケティの主張に対しては、理論的にも実証的にも反論のほうに優勢である。

過去 200 年の歴史はともかく、AI、IT により人間の労働が根こそぎ無用になるということは、本当にはないのだろうか。実はこの問題は、今から 200 年以上前、ナポレオン戦争の頃に活躍したイギリスの経済学者デイビッド・リカードによって論じられた。アダム・スミスから始まる「古典派経済学」を完成した大経済学者リカードは、『人口論』のマルサスと長年論争を繰り返した人でもあった。主著『経済学と課税の原理』は 1817 年に刊行されたが、リカードは一貫して機械の導入は労働者の利益を増進すると考えていた。しかし、晩年に刊行した『原理』の第 3 版の末尾に新しく「機械について」と題する 1 章を付け加え、機械により労働者が著しく不利益を被ることがありうると主張した。こうしたリカードの主張に対しては、スウェーデンの経済学者ヴィクセルが反論した。その後さらに、20 世紀を代表する経済学者の一人であるサミュエルソンによっても、この問題は論じられている。ちなみにサミュエルソンの論文のタイトルは、「④リカードは正しかった！」である (Samuelson [1989])。リカードから 200 年、これまでは機械により人々が貧しくなることはなかった。先進国の人々の豊かさは増進したのである。21 世紀、AI、IT によりついにリカードの予言は現実のものとなるのだろうか。

出典：吉川洋『人口と日本経済』中公新書、2016 年、85-89 ページ（問題作成において、語句を一部省略・修正した。）

注 1：15 歳以上の人口のうち、労働の意思と能力をもつ者の数。就業者と完全失業者の合計

注 2：1980 年代中頃まで東京駅では駅員の手によって改札業務が行われていたが、その後自動改札機が導入されたという例

注 3：投入した労働量に対してどれくらいの生産量が得られたかを表す指標

[設問1] 下線部①にあるように「人間の仕事」が「AI や IT によって置き換えられることになる」のかどうかについて、筆者の考えに触れつつ、あなたの考えを 300 字以内で述べなさい。

[設問2] 下線部②に関して、なぜ両者を区別することが重要なのか、その理由を文中の言葉を用い 70 字以内で説明しなさい。

[設問3] 下線部③はどのようなことを意味しているか、文中の言葉を用い 80 字以内で説明しなさい。

[設問4] 下線部④はどのようなことを意味しているか、文中の言葉を用い 70 字以内で説明しなさい。

【問題 2】 次の文章を読んで、[設問 1] から [設問 4] に答えなさい。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

① フードデザート問題を説明するため、まずは海外における研究事例を紹介する。フードデザート問題とは、イギリス政府が命名した名称であり、1990 年代以降、欧米を中心に地理学や栄養学、医学など様々な学問分野が研究を進めてきた社会問題である。スーパーストア(注 1)の郊外進出が顕在化したイギリスでは、1970～1990 年代半ばにインナーシティ(注 2)に立地していた中小食料品店やショッピングセンターが相次いで廃業した。その結果、経済的理由などから郊外のスーパーストアへの移動が困難なダウンタウン(注 3)の貧困層は、都心に残存する雑貨店での買い物を強いられた。このような店舗は商品の値段が高く、野菜や果物などの生鮮品の品揃えが極端に悪い。そのため、貧困層における栄養事情が悪化し、がんや心臓血管疾患などの疾患発生率が増加したとする研究報告がなされている。フードデザートでは、買い物先以外にも医療機関や教育機関、雇用機会、福利サービス施設など、さまざまな社会サービスが欠落している。

イギリスでは、1990 年代末以降、フードデザート問題に対する興味・関心が高まり、政府主導のもとで先駆的な研究が進められた。これまでに、リーズやブラッドフォードなどの主要な地方都市を中心にフードデザート問題の研究蓄積が進んでいる。なかでも、食料品小売店への近接性が重要となるため、地理学的視点からの研究の有効性が指摘されている。

イギリスの場合、フードデザート問題の被害者は低所得者層や交通弱者、家事・育児に追われる人々(シングルマザー)、高齢者、身体障害者、外国人労働者など多岐にわたる。こうした人々が集住する買い物先空白地帯では、野菜や果物の消費量が全国平均を大きく下回っている。また、所得の低い世帯ほど健康管理に無関心であり、生鮮食料品を避けて安価で手間のかからないレトルト食品に依存する傾向が強いことが明らかとなっている。あるシングルマザー(母 19 歳無職、娘 3 歳)は、週 50 ポンドの生活保護費のうち 30 ポンドを自身のタバコ代に費やし、子どもには近所の雑貨店で購入した安いレトルト食品を与えていた。彼女たちは、生鮮食料品を購入できるだけの十分な収入が無いだけでなく、食と健康に関する知識の欠落も著しい。

イギリス以外でも、フードデザート問題の研究蓄積がみられる。人種差別と商業機能の郊外化問題が著しいアメリカでは、アフリカ系アメリカ人を中心にフードデザート問題が深刻化している。アメリカの場合、生鮮食料品の空白地域にファーストフード店が多数出店し、栄養過多による肥満問題を誘発している。なかでも子どもの肥満が顕著である。貧困の構図や都市構造、福祉政策などは、国や地域によって大きく異なる。そのため、フードデザートの規模や被害者の属性、具体的な健康被害の内容などは、対象地域毎に違っている。しかし、低所得者層に対する生鮮食料品供給システムの崩壊がもたらす健康問題という点で、いずれのケースも共通する。こうした研究報告がある一方で、これらは一部の極端な事例にすぎないとしてフードデザート問題に懐疑的な研究者も複数みられる。

② イギリス政府は現在、問題打開のための実行グループを結成し、解決に当たっている。イギリスではいま、大型店出店規制の再強化や地元商店街の再活性化、小売企業と行政が結びついたフードデザート地域の再開発事業などを進め、住民の生鮮品へのアクセスの改善を図っている。同時に、住民に対しても食事・健康に関する教育の促進が進められている。こうした取り組みが功を奏し、中心商店街の空洞化問題は大幅に是正されている。大手食品スーパーも、大型店の郊外出店から都心部の中型店出店へと出店戦略をシフトしている。リグレーほかは、大手スーパー・テスコ(Tesco)のフードデザートへの新規出店が近隣住民に与えたインパクトを調査し、食品小売店への近接性の向上が貧困層の食料事情の改善に寄与したことを明らかにした。彼らは、フードデザート問題の根本的な問題解決は社会的格差

の解消にあるとした上で、政府と民間企業が提携したフードデザートの新設事業が住民の食料事情の改善に一定の効果を取めていることを指摘している。

しかし、問題点も指摘されている。前述の通り、フードデザート問題は単なる買い物不便ではなく、その根底には貧困や差別を背景とした社会的排除問題が介在している。現に、イギリスではフードデザートにスーパーが出店しても、周辺住民の生鮮野菜・果物の摂取量はそれほど向上しなかったという報告がなされている。同様に、子どもの肥満問題が深刻化しているアメリカでも、スーパーへの近接性の向上が肥満問題の解決につながらないことが指摘されている。イギリスの場合、教育レベルが低いとされる低所得者層が被害の中心である。そのため店舗の新設と同時に、健康な食生活の重要性を地域住民に教える食育が進められている。

出典：岩間信之編著『改訂新版 フードデザート問題—無縁社会が生む「食の砂漠」』、一般財団法人農林統計協会、2013年、8—10 ページ（一部修正・省略して抜粋。）

注 1：通常のスーパーマーケットより規模が大きく、幅広い品揃えを提供する小売店

注 2：大都市の都心周辺で、住宅・商店・工場などが混在する地域

注 3：繁華街，都心部

〔設問 1〕本文中下線部①「フードデザート」とは何を指しているのか、本文中で最も適切な言葉を抜き出して、10 字で書きなさい。

〔設問 2〕イギリスとアメリカにおけるフードデザート問題に共通する問題は何か、本文中の言葉を用いて、40 字以内で説明しなさい。

〔設問 3〕イギリスとアメリカにおけるフードデザート問題の特徴について、本文中の言葉を用いて、それぞれ 50 字以内で説明しなさい。

〔設問 4〕本文中下線部②「イギリス政府は現在、問題打開のための実行グループを結成し、解決に当たっている」とあるが、その内容を具体的にまとめた上で、それに対するあなたの考えを 200 字以内で述べなさい。

【問題1】

[設問1] 300字以内

				5					10					15					20
5																			
10																			
15																			

設問1 得点

[設問2] 70字以内

				5					10					15					20

設問2 得点

[設問3] 80字以内

				5					10					15					20

設問3 得点

[設問4] 70字以内

				5					10					15					20

設問4 得点

総得点

【問題2】

[設問1] 10字

				5					10
--	--	--	--	---	--	--	--	--	----

設問1 得点

[設問2] 40字以内

				5					10					15					20

設問2 得点

[設問3] 50字以内

イギリス

				5					10					15					20

設問3 得点

アメリカ

				5					10					15					20

[設問4] 200字以内

				5					10					15					20
5																			
10																			

設問4 得点

総得点

下書き用紙

下書き用紙